



AMX-76

レース織りのランチョンマットとコースター

Rich More

デザイナー / ゆさあきこ

2020S/S

(1-2)

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ系)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
東京	No.1	①(ホワイト系)	1.4玉
シルクテレーザ	No.1	②(シルバー系)	0.7玉

●使用ヘドル…40羽 (27本/10cm)

●その他の道具…予備のシャトル1本

●ヨコ糸密度…平織部分26段/10cm

●織り上がり寸法…

ランチョンマット：長さ35cm、幅24cm (フサの長さ含まず)

コースター：長さ8cm、幅8cm (フサの長さ含まず)

●作り方

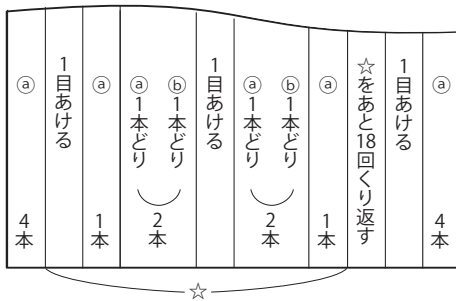
1 タテ糸を配色どおりに張る。

タテ糸の本数…①84本、②38本 (合計122本)

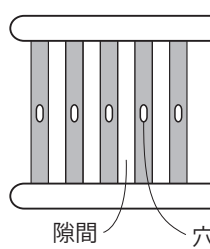
ヘドル通し幅…ランチョンマット31cm、コースター11cm

タテ糸の長さ…118cm

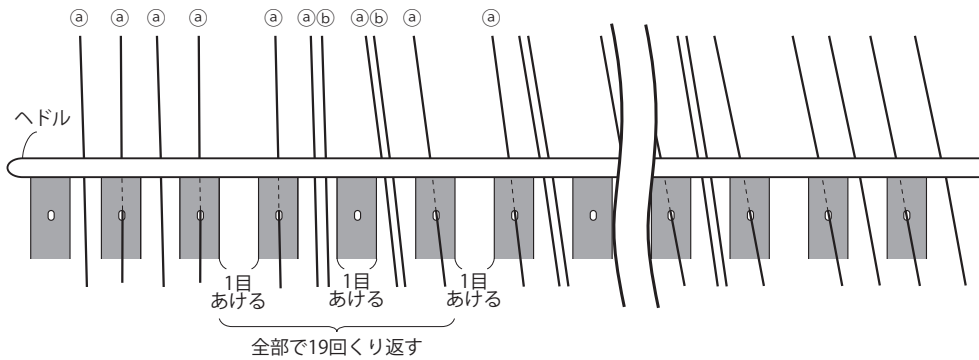
〈タテ糸配色〉 ※ランチョンマットは両端の糸がヘドルの隙間に通るようにする。



〈ヘドル名称〉

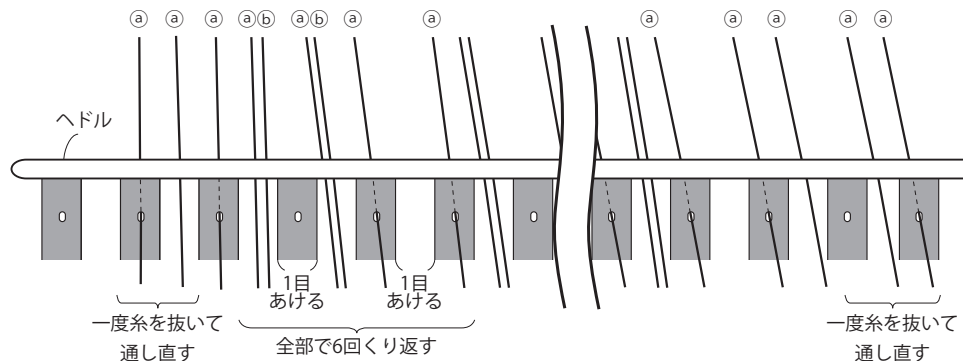


〈ランチョンマットのタテ糸の通し方〉



〈コースターのタテ糸の通し方〉

※ランチョンマットが織りあがったら、ヘドルに糸が通ったままフロントローラー側で糸を切る。コースター分の①30本②12本の計42本を図のように通した状態でフロントスティックに結ぶ。

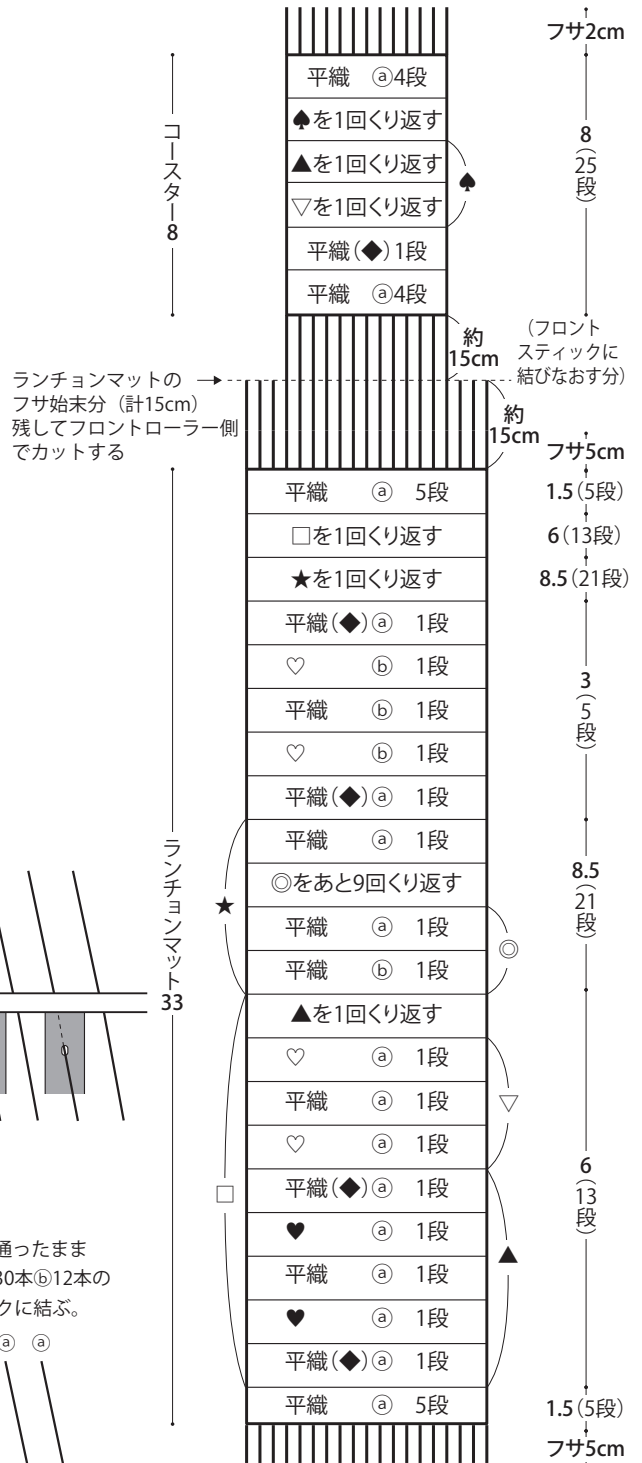


2 ヨコ糸を配色どおり織る。♥、♡はくもじり織の織り方→を参照して織る。

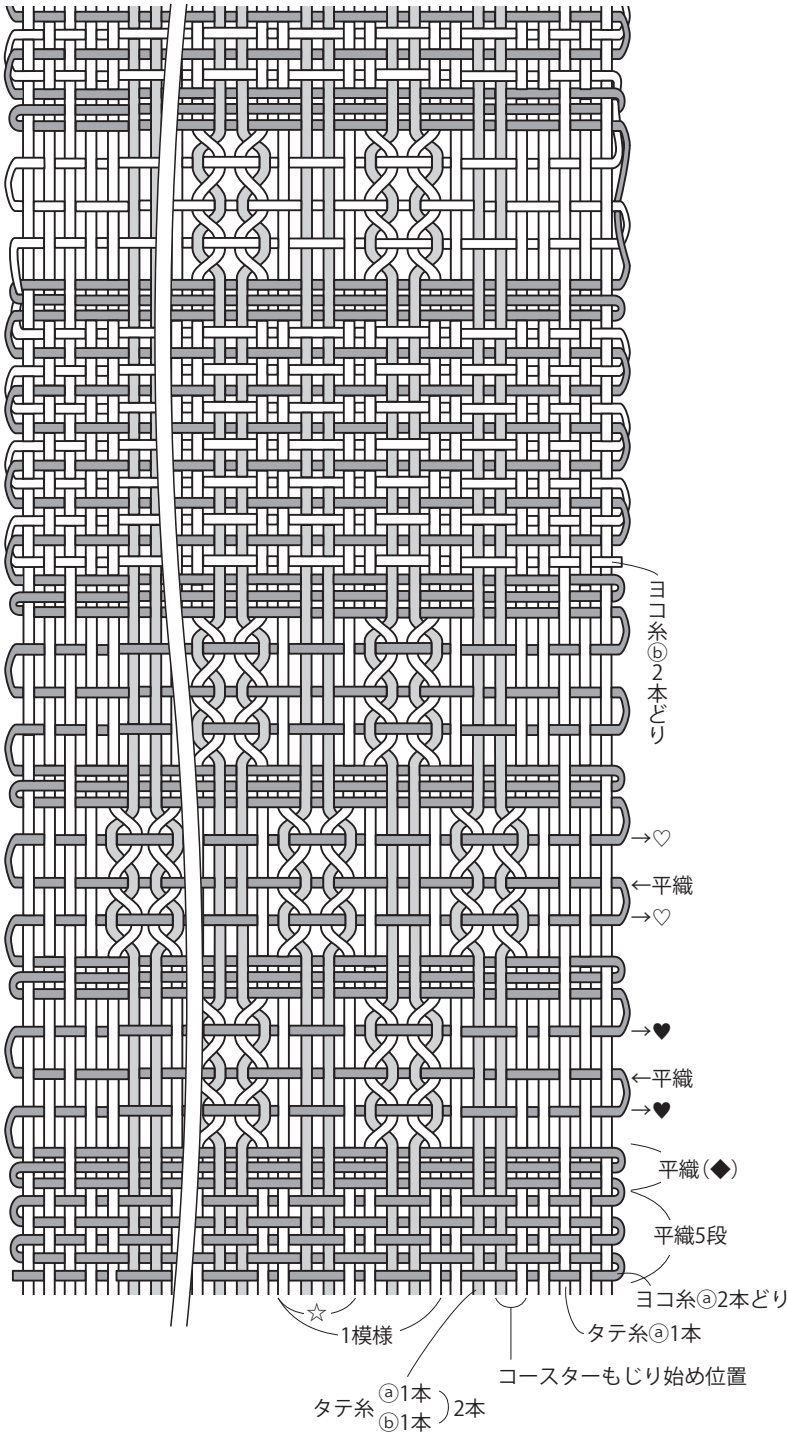
〈ヨコ糸デザイン〉

※ヨコ糸は全て2本どりで織る。(①=①2本どりで、②=②2本どりで)

※ランチョンマットを織り、一度糸を切る。コースターの分だけタテ糸を結びなおす。



<ヨコ糸デザイン図>



<平織 (◆) 1段の織り方>

ヨコ糸を両端のタテ糸にからめながら同じ段に3回糸を通して織る。

<♥、♡(もじり織り)の織り方>

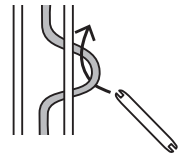
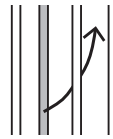
- ①ヘドルをアップポジションに置く。
- ②指定の位置でタテ糸をもじり、予備のシャトルを通す。

<右上もじり>



- ①左側のタテ糸②(2本どり)を、右側の1本の下を通して上に持ち上げる。

- ②矢印の位置に予備のシャトルを通す。

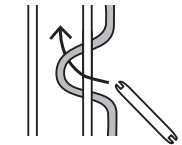
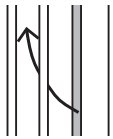


<左上もじり>



- ①右側のタテ糸②(2本どり)を、左側の1本の下を通して上に持ち上げる。

- ②矢印の位置に予備のシャトルを通す。



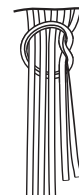
- ③ヘドルをレストポジションに置き、通したシャトルを起す。できたすき間にヨコ糸を通す。
- ④②で通したシャトルを利用して打ち込む。



③で通したヨコ糸

- ③フサは5本1組でネクタイ結びし、ランチョンマットは5cm、コースターは2cm丈にカットする。

<ネクタイ結び>



ランチョンマット: 5cm
コースター: 2cm

表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。織るときは縮み分を考慮し、打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。